

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 MFC-12 N-1R パートC (三菱カラーネガフィルム用発色現像補充液)
会社情報 会社名 : 三菱製紙株式会社
住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号
担当部門 : 技術環境部
問い合わせ窓口 : イメージング事業部 IJ・フット営業部 (電話番号03-5600-1508)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

金属腐食性物質 : 区分1

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分3

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分外

皮膚感作性 : 区分1

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分2

*危険/有害性の大きさ (区分) は、数字の小さいほど危険性/有害性が高い。

*記載のないものは、分類対象外または分類できない。

ラベル要素 絵表示



どくろ



腐食性



健康有害性

注意喚起語 危険

危険有害性情報 金属腐食のおそれ (区分1)
飲み込むと有毒 (区分3)
皮膚刺激 (区分2)
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (区分1)
長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ (区分2)

注意書き

【予防策】

他の容器に移し替えないこと。ミストや蒸気を吸う事を避ける。保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

【対応】

物的被害を防止するために流出したものを吸収すること。

飲み込んだ場合： 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

【保管】

堅い内張りのある防腐容器に保存する。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 発色現像補充液

成分及び含有量	化審法	CAS No.	含有量%
パラフェニレンジアミン誘導体	(3)-2710	25646-77-9	1.5 - 3.0
亜硫酸ナトリウム	(1)-502	7757-83-7	1 - 5
水	対象外	7732-18-5	7.0 - 9.0

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させてください。医師に連絡してください。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服を脱いで、直ちに石鹼を用いて大量の水で十分に洗い流してください。刺激が強まったり続く場合には、医師の診断/手当を受けてください。皮膚に少量付着した場合、影響を受けていない皮膚に物質が広がるのを防いでください。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズをしている場合は、可能な限り外し、その後も洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合、眼科医の診断/手当を受けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を良く洗ったのち、気分が悪い時は医師に連絡し、診察を受けてください。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用してください。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 散水、炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等
- 使ってはならない消火剤 : 通常の条件下では、不適切な消火剤はない。
- 特定の消火方法 : 周辺火災の場合、可能ならば移動可能な容器は速やかに安全な場所に移してください。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させてください。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないよう配慮してください。
- 保護具等 : 消火の際は適切な保護具（自給式呼吸器具、及び完全保護具等）を着用してください。熱により成分が分解してCO_x、NO_x、SO_xガスが発生する場合があります。風上から消火活動を行ってください。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋等）を着用して回収してください。
- 保護具及び緊急時措置
- 環境に対する注意事項 : 薬品が河川等に排出されないように注意してください。
- 除去方法 : 漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流してください。回収したものを廃棄の場合は関係法令に従ってください。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 安全取扱い注意事項
- 技術的対策 : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにしてください。取扱い後に、手や顔等をよく洗ってください。
- 作業者は換気を充分に行ってください。
- 作業後には、手、顔等をよく洗ってください。
- 局所排気・全体換気
- 注意事項 : 直射日光を避け、涼しい場所に置いてください。十分な強度を有するプラスチック容器を使用してください。開封後は全量使い切ってください。子供の手の届くところには置かないでください。
- 保管

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 換気扇による強制換気を行ってください。また、作業場の近くには手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手や顔をよく洗ってください。
- 管理濃度 安衛法管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 日本産業衛生学会 : 未設定
- ACGIH/TLV : 未設定
- 保護具
- 呼吸器 : 適切な呼吸用保護具
- 手 : 不浸透性保護手袋
- 眼 : 保護眼鏡、及び顔面保護具
- 皮膚及び身体 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 濃黄色
- 臭い : 硫黄臭
- pH : 2.3 (25℃)
- 融点 : < 0℃
- 沸点 : > 100℃
- 引火点 : 引火性はない
- 自然発火温度 : 通常の手取扱いでは安定
- 燃焼又は爆発範囲 : データなし (上限、下限)
- 分解温度 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 比重 : 1.11 (相対密度)
- 溶解度 : 水に易溶
- n-オクタノール/水分分配係数 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の手取扱い条件では安定である。
- 反応性 : 塩素系漂白剤（次亜塩素酸塩）又は強アルカリと混合すると有害な刺激性ガスが発生する懸念がある。
- 避けるべき条件 : 直射日光、凍結
- 混触危険物質 : 塩素系漂白剤（次亜塩素酸塩）又は強アルカリ
- 危険有害な分解生成物 : 窒素酸化物、一酸化炭素、炭酸ガス、硫黄酸化物（亜硫酸ガス等）
- その他 : 金属を腐食する。

- 1 1. 有害性情報
急性毒性 : LD50 50 - 500mg/kg (ラット経口)
皮膚腐食性/刺激性 : 刺激性あり
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 刺激性なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
発がん性 : IARC (国際がん研究機関) のランク [1;2A;2B] 物質の有無 : 該当物質なし
- 1 2. 環境影響情報
生態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
- 1 3. 廃棄上の注意
自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上、産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を添えて、運搬、処理を委託してください。
廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法：産業廃棄物 (廃酸)、水質汚濁防止法：生活環境項目、下水道法：下水の排除の制限】
汚染容器・包材 : 内容物を完全に除去した後に処分してください。
- 1 4. 輸送上の注意
船舶輸送は危規則の規定に従ってください。航空輸送はIATA規則の規定に従ってください。
国連番号 : UN3265
国連分類 : クラス 8
容器等級 : III
緊急時応急措置指針番号 : 153
- 1 5. 適用法令
安衛法 (通知対象物質) : 非該当
化管法 : 非該当
毒劇法 : 非該当
消防法 : 非該当
船安法 : 腐食性物質 (クラス 8)
航空法 : 腐食性物質 (クラス 8)
- 1 6. その他の情報 (記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の実施を対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも充分でないので、取扱いには充分注意してください。本 SDS に記載のラベル要素は、実際の製品には表示されない場合があります。